

令和3年度 大阪府立岸和田支援学校 第1回学校運営協議会 議事録

(1) 会議の日時及び場所

令和3年5月12日(水) 書類郵送による意見聴取

本校での開催予定だったが、大阪府が「まん延防止等重点措置」を実施すべき区域とされたことを踏まえ、委員の出席については郵送、メール、オンライン会議システム等により意見等を聴取することで会議への出席に代えた。委員全員が郵送による意見聴取を希望したため、4月30日(金)資料を送付した。

(2) 出席者の氏名

会長 高田 昭夫 (大阪総合保育大学)

副会長 宇賀 敦子 (本校PTA会長)

委員 齋藤 昌子 (本校保護者) 高原 育子 (地域住民)

谷 かおり (岸和田市立いながわ療育園) 田中 真樹 (阪南市立朝日小学校)

事務局 本校教職員

(3) 議題

- ① 学校運営協議会実施要項
- ② 令和3年度 学校経営計画および学校評価 (案)
- ③ 令和3年度 学校教育自己診断タイムテーブルおよび内容について

(4) 協議内容

委員全員から意見書による回答があった。

① 学校運営協議会実施要項

学校運営協議会会長を高田 昭夫 氏、副会長を宇賀 敦子 氏とすることについて異議はなかった。

② 令和3年度 学校経営計画および学校評価 (案)

- ・学部間の引継ぎなどの連携ができている(75%)となっているが、保護者側としては連携しているようには感じられない。どういう取り組みをしているのか。
- ・医療的ケアが多様化している。教職員だけでなく看護師も技術向上をめざす取り組みができないか。
- ・『子どもの人権』についての理解を深める事は非常に有意義である。

③ 令和3年度 学校教育自己診断タイムテーブルおよび内容について

- ・(教職員用)「7 学校は安全な給食を提供することができている」について「安全な給食」は異物混

入や汚染等衛生管理の印象が強く学校給食の前提である。摂食指導や校内体制のことを評価するのであれば「どのように提供しているか」という視点をもたせた表現の方が誤解を生じないのではないか。

- ・『楽スタ』の訓練方法について知っているか」の設問だけでなく、使用してみたいかどうかをあわせて設問に取り入れることはできないか。使用していない生徒や可能なら使用してみたいと思う保護者に『楽スタ』のことを理解してもらえないのではないか。
- ・保護者用の回答として「わからない」を追加してはどうか。保護者が学校教育や学校運営に対する理解の程度が分かり、今後の課題として見えてくるのではないか。
- ・今後も継続して行くと同時に、もっと周知する必要がある。

④ その他

- ・現状の新型コロナウイルス感染症禍の中での学校運営は大変かと思うが、「めざす学校像」のとおり、子どもたちとその保護者が安全で安心して学ぶことができ、全教職員がやりがいと誇りをもち、地域から信頼される学校をめざしてほしい。
- ・非常に努力している。

(5) 議決事項

① 学校運営協議会実施要項

学校運営協議会会長を高田 昭夫 氏、副会長を宇賀 敦子 氏とする。

② 令和3年度 学校経営計画および学校評価（案）

特記事項なし

③ 令和3年度 学校教育自己診断タイムテーブルおよび内容について

- ・教職員用アンケート7は「学校は給食を安全に提供するため、ペースト注入についての内容の検討を行うなど摂食指導について常に新しい課題に取り組んでいる。」に修正する。
- ・保護者アンケート3は「有効なら『楽スタ』の訓練を自分の子どもに取り入れてほしいと思っている。」に修正する。
- ・「わからない」という回答が多くなった場合、「そう思う」「そう思わない」といったわかりやすい結論が得られにくくなる。わからないときは未記入で回答してもらっている。今年度は、未回答の数を報告する。

(6) 前各号に掲げるもののほか、必要な事項

学校運営委協議会の開催については4月22日（木）保護者あて文書を配付した。保護者からの意見書はメール、郵送、学校設置の専用箱への投函のいずれもなかった。